

あくていぶ21 森田 治巳 議員



鈴鹿市の安全安心対策について

質問 市の公共施設全般における耐震化の現状と今後の対策はどうなっているのか。公立の小中学校や幼稚園の耐震化は、どこまで進められているのか。保育所や公民館の耐震化の現状と対策は。

答弁 平成19年度末で、市が設置した公共施設の耐震化率は91.3%で、全国的にも非常に高い水準にある。本年3月には鈴鹿市耐震改修促進計画を策定し、市内建築物の耐震化に関する目標を定め、計画的に耐震化を図っていくこととした。この計画に基き、対象施設に

対して100%の耐震化をめざし、取り組む。耐震化率は、小学校校舎30校が100%で、小学校の屋内運動場は93.3%、中学校の校舎は、96.3%で、中学校の屋内運動場は90.9%である。幼稚園については、100%である。公立保育所10園中、牧田と神戸は耐震に関する建築基準を満たしており、8園のうち5園は、耐震補強工事を実施し、河曲・算所・玉垣の3園は、建て替えで対応することとした。公民館30館とふれあいセンター1館中、旧耐震基準で建築されたのが16館あり、建て替え計画のあった玉垣・稲生を除く14館のうち耐震補強が必要とされた石薬師・若松・神戸・合川・久間田については、計画的に工事を実施している。なお、玉垣公民館は建替を終え、稲生・若松公民館は新築移転事業に着手している。

緑風会 小島 巧也 議員



有害サイトから子供をどう守るのか

質問 出会い系サイトや学校裏サイトなど多くの有害サイトが存在し、問題が発生している。鈴鹿市の現状はどうか。家庭と教師が実態を把握し、指導すべきと考えるが、今後どのような対応をとるのか。

答弁 ネットを介した子供たちの問題行動件数は、年々増加傾向にあり、おもな内容は、「悪口の書き込み、いやがらせメール」や「ネットゲームからのトラブル」など平成19年は、11件の報告を受けた。「学校裏サイト」については、匿名であることやアドレスが複雑であるた

め、実態は把握できていない。対応として、鈴鹿市青少年対策推進本部ではこれまでに、有害サイトへの接続の危険性についてのリーフレットを作成し、児童生徒や保護者に配布するなど、未然防止に向けて指導を行ってきた。今後は、最新情報を得て、学校と家庭の連携を一層強化していきたい。また、本年度中に子供たちの発達段階に応じた、安全教育カリキュラムを作成し指導を進めていく。



政友会 大杉 吉包 議員



- ①食と農について
- ②土地区画整理事業について
- ③公共下水について

質問①(1) 本市の食と農に対する取組みと対策は。

答弁①(1) 安全安心な農産物を求める市民ニーズに対応するため生産履歴記帳などによる安心な農産物の生産振興や直売所等を活用した地産地消の一層の推進に取組みたい。

質問①(2) 学校給食の安全対策と地産地消の実態は。

答弁①(2) 国内産をできる限り使用し残留農薬の検査については自主検査証明書を求め確認している。又、鈴鹿市産の利用率は野菜が11.5%、米が72%になっ

ている。

質問② 市街化調整区域での事業実施は可能か。

答弁② 市街化調整区域内における新たな市街地形成としては工業団地などの工業系の土地利用は可能でありその事業手法のひとつとして土地区画整理事業がある。

質問③ 公共下水の進捗状況と今後の計画について。

答弁③ 使用開始から約10年が経過し整備済面積は1,499ヘクタールで計画面積の31.9%である。今後の計画としては人口密度が高く事業の投資効果が表れやすい市街化区域内を優先しその後市街化調整区域にとりかかっていきたい。